

令和4年度 定時総会（開催報告）

公益社団法人 瀬戸内海環境保全協会

（公社）瀬戸内海環境保全協会では、毎年度1回、定時総会の開催に併せて、瀬戸内海環境保全推進ポスター公募最優秀賞等受賞者表彰式を実施しました。

令和4年度の総会時(令和4年5月26日)においては、これに加え、特別講演会のテーマを「気候変動・海洋酸性化への適応と里海づくり」として、(特非)里海づくり研究会議 理事兼事務局長 田中 丈裕 氏および(国研)水産研究・教育機構水産資源研究所主幹研究員 小埜 恒夫 氏より講演が行われました。

また、今年度は会場出席にできない方には、Web で定時総会の状況と講演会を視聴できるようにいたしました。

1. 瀬戸内海環境保全協会 令和4年度定時総会

瀬戸内海環境保全協会の令和4年度定時総会については、兵庫県副知事 服部 洋平氏より挨拶があり、その後、令和3年度事業報告・決算、令和4年度事業計画・予算、国に対する提案等について、提案と報告がありました。提案のあった案件については、全て全会一致で了承されました。なお、総会の議長は、佐藤均 副会長(一般財団法人広島県環境保健協会理事長)が務められました。



服部副知事の挨拶

2. 令和4年度瀬戸内海環境保全推進ポスター公募最優秀賞等受賞作品の紹介

20都府県から合計593点の応募の中から、最優秀賞である環境大臣賞には、尾崎 斗馬さん、優秀賞である瀬戸内海環境保全協会会長賞には、井内 聖さん、高木 咲良さんが選ばれ、表彰式で賞状及び副賞の授与を行いました。

また、受賞作品の原画を会場ロビーで展示いたしました。

瀬戸内海環境保全推進ポスターは関係機関に配布され、年間を通じて広く掲示されます。



令和4年度瀬戸内海環境保全推進ポスター表彰式

3. 特別講演会

講演テーマを「気候変動・海洋酸性化への適応と里海づくり」とし、2名の方から講演が行われました。

演題・講師

- ① 瀬戸内海における気候変動と環境変動：漁業関係者の視点から
田中 丈裕 氏（(特非)里海づくり研究会議 理事兼事務局長）
- ② 日本の沿岸域における酸性化の特性と私たちにできること
小埜 恒夫 氏（(国研)水産研究・教育機構 水産資源研究所 主幹研究員）



特別講演会の様子（Web 講演）

令和5年度「瀬戸内海環境保全推進」ポスター募集要項

◆募集の趣旨

公益社団法人瀬戸内海環境保全協会では、国民一人ひとりが「瀬戸内海の環境保全」について、理解と認識を深め、各地での取り組みへと輪を広げていただくことを目的に、6月を「瀬戸内海環境保全月間」とし、月間中は、各地で環境の集い、自然観察会など様々な行事が行われています。

そして、この月間の契機として、年間を通じて、「瀬戸内海の環境保全」への意識を高揚するため、令和5年度の瀬戸内海環境保全推進ポスターの図案を募集します。最優秀作品は、推進ポスターとして、瀬戸内海環境保全月間の行事及び月間以降も瀬戸内海地域の自治体・環境保全団体等において掲示します。

(参考) 瀬戸内海環境保全推進ポスターライブラリー <https://www.seto.or.jp/poster>

◆瀬戸内海の現状

瀬戸内海は、多くの海水浴場があり、世界文化遺産も点在し、また、スナメリやカブトガニといった貴重な生き物をはじめ、多くの鳥や魚などが棲み、日本で最初の国立公園に指定された、世界においても比類のない美しさを誇る景勝地です。昔から、私たちは、瀬戸内海の豊かな恵みを受けてきました。高度経済成長期には、工場や家庭からの排水などにより魚などに影響を与える赤潮が多く発生し、水質はひどく汚れてしまいました。瀬戸内海環境保全特別措置法の制定などによる水質改善のための施策をはじめ、瀬戸内海沿岸の住民や関係者の努力により、水質は全体として改善されてきました。しかしながら、一部の海域では依然として赤潮が発生しており、また一方では、栄養塩類の減少によるノリの色落ちや漁獲量の減少、生物の生息に重要な藻場・干潟の減少、海洋プラスチックごみ問題、気候変動による水温上昇などの新たな課題がでてきています。これらの問題に対応するために、国や地域で様々な取組が行われています。今後、瀬戸内海に関わる多くの人々が協力して、様々な取組を進めていくことが求められています。

(参考) 瀬戸内海とわたしたち(せとうちネット)

http://www.env.go.jp/water/heisa/heisa_net/setouchiNet/seto/setonaikai/index.html

◆募集テーマ

「こんな瀬戸内海にしたい」、「瀬戸内海から得られる恵み」、「瀬戸内海らしい風景」、「瀬戸内海を通じた交流」、「瀬戸内海での楽しい思い出」、「生活の中の瀬戸内海」などの、皆さんの瀬戸内海の環境に対する思いや守りたい瀬戸内海の環境 をポスター図案にしてください。

◆賞と表彰: 受賞者が小・中・高校生以下の場合、副賞は図書カードとします。

- | | |
|------------------------|---|
| 1. 最優秀賞(環境大臣表彰) | 全応募作品の中から1点(賞状、副賞10万円) |
| 2. 優秀賞(瀬戸内海環境保全協会会長表彰) | (1) こども部門 1点(賞状、副賞2万円)
(2) 一般部門 1点(賞状、副賞2万円) |
| 3. 佳作(瀬戸内海環境保全協会会長表彰) | (1) こども部門 若干数(賞状、副賞1万円)
(2) 一般部門 若干数(賞状、副賞1万円) |

◆審査員

白木江都子(貝塚市立自然遊学館研究員)、宮田 洋子(ガラス造形作家・グラスミュージズ代表)、山本 孝(絵本作家)、主催・後援団体の関係者

◆発表: 令和5年5月中旬

ホームページ等で発表するとともに受賞者に通知いたします。

なお、最優秀賞及び優秀賞の受賞者は、令和5年5月下旬に開催予定の瀬戸内海環境保全協会の定時総会に招待し、表彰を行うとともに賞の授与を行います。

◆作品送付先: 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 人と防災未来センター 東館5階

(公社)瀬戸内海環境保全協会事務局 <http://www.seto.or.jp/>

TEL:078(241)7720 FAX:078(241)7730

■主催:(公社)瀬戸内海環境保全協会

■後援:環境省、瀬戸内海環境保全知事・市長会議

✂ ✂ ✂ 応 募 規 定 ✂ ✂ ✂

1 応募資格	
① こども部門 …小学生以下	こども、学生、大人を問わずどなたでも応募できます。 家族などのグループによる共同制作も受け付けています。
② 一般部門 …中学生以上	
2 作品募集期間	
令和4年6月1日(水)～11月30日(水)必着	
3 サイズ・質等	
① 四つ切り画用紙サイズ(縦 54 cm×横 38 cm)	
② 紙を 縦向き にしてポスター図案を作成してください。 (※紙を横向きにしないでください。横向きで作成したものは審査の対象外になります。)	
③ 絵の中に、 <u>標語など言葉を記入しないでください</u> 。(※標語の入ったものは審査の対象外になります。)	
④ 紙質は自由。絵の具、パステルなど、得意な表現で応募できます。	
4 応募の留意事項	
① 下記事項①～⑦を作品裏面に明記してください。 ① 住所 ②氏名(フリガナ) ③年齢 ④職業(学校名・学年) ⑤連絡先(電話番号・メールアドレス) ⑥簡単な制作意図 ⑦募集を知るきっかけとなったもの	
② 応募点数は制限なし。ただし1用紙に作品1点とし、未発表のオリジナル作品に限ります。	
③ 入選作品の著作権は主催者に帰属し、応募作品の返却はいたしません。	
④ 入選作品の使用・掲出に際して「瀬戸内海環境保全推進」の文字や標語など所定の文案を入れ込むなど、一部補作する場合があります。	
⑤ 結果発表の際には、入選作品のデザイン絵画画像、入選者氏名とお住まいの市区町村名を記載して発表します。	

令和4年度瀬戸内海環境保全推進ポスター 入選作品



こども部門／優秀賞
高木 咲良 さん
小学6年生



最優秀賞(環境大臣賞)
尾崎 斗馬 さん
小学1年生



一般部門／優秀賞
井内 聖 さん
高校2年生